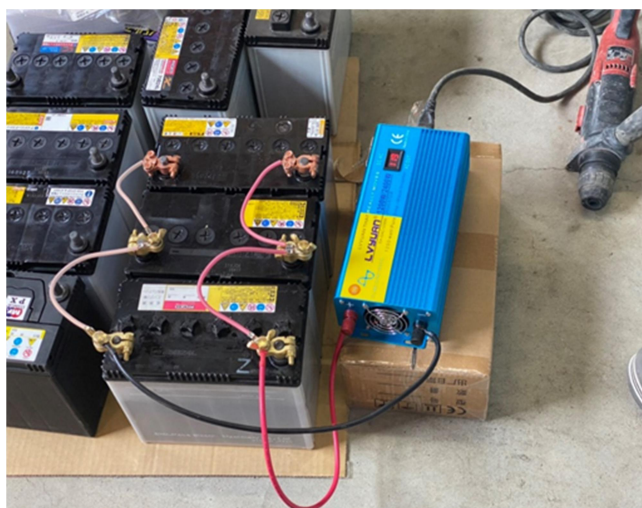


(活動報告書様式)

団体名	ドリームやまがた里山プロジェクト		
事業名	(事業1) 自然エネルギーを活用した小規模発電用蓄電システムの研究開発		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	1,050,000 円
		うち助成金額	1,050,000 円



■ 事業目的

地球温暖化対策や循環型社会推進を目的として、太陽光、風力、小水力、バイオマス等の自然エネルギーを活用した発電システムの取り組みが進んでいる。

一方で、新たな FIT (固定価格買取制度) の廃止等により、蓄電システムへの移行が課題となっている。

そこで、廃車等により生じたバッテリーを再生処理し、効率的な蓄電システムとして活用するための研究開発を進めたい。

本事業を通じて、今後、スマート農業分野での「自然エネルギーの地産地消」としての活用を目指す。

■ 実施内容

① 蓄電パッケージの製作

- ・再生バッテリーのパッケージ化 (1 パッケージ: 40Ah×3 個=120Ah) を設計した。

- ・実験用として 6 パッケージを製作した。

- ・バッテリー再生装置をリースし、再生バッテリーを 16 個準備した。

- ・商用電力+インバーターによる充電、および負荷による放電性能を計測した。

② 実証試験

- ・花卉農家と共同で、啓翁桜などの促成、出荷調整作業のための温度調整に本電力を活用した。

■ 事業の成果及び今後の展望

① 事業効果

- ・パッケージ化することで、

メンテナンスが容易になったと同時に、利用規模に合わせてシステム設計が可能となった。

- ・花卉栽培の温度調整の効果を確認した。

- ・新たな FIT 廃止に伴う、新規の自然エネルギー事業への活路が見いだせた。

② 今後の展望

- ・自然エネルギーを活用した小規模発電および蓄電システムの普及を目指す。

- ・バイオマスや小水力発電併用促進により、里山再生の一助としたい。

- ・今後、発電、蓄電、利用の「自然エネルギーの地産地消」事業の足がかりとしたい。